**いしかわ環境フェア２０２４/いしかわの里山里海展２０２４/**

**いしかわ近未来の環境技術展２０２４開催業務委託　企画提案仕様書**

１　開催概要

（１）主催

いしかわ環境フェア２０２４ 公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議

いしかわの里山里海展２０２４ いしかわ里山づくり推進協議会

いしかわ近未来の環境技術展２０２４ 石川県

（２）日時

【設営】　８月２２日（木）　　　　　　　　　　　１３時００分　～

２３日（金）　　　　　　　　　　　　　　　　　　～　１８時００分

【１日目】　　２４日（土）オープニングセレモニー　９時２０分　～　　９時３０分

開場 　　　　　　　 　　９時３０分　～　１６時３０分

　　　【２日目】　　２５日（日）開場 　　　　　　　　 　９時３０分　～　１６時３０分

撤去　　　　　　　　　１６時３０分　～　１９時００分

（３）会場

石川県産業展示館４号館（金沢市袋畠町南１９３番地）

（４）テーマ

みんなで!! ストップ温暖化

（「デコ活」～カーボンニュートラルにつながる新しい豊かな暮らしへ～）

（５）趣旨

①　いしかわ環境フェア２０２４（以下「環境フェア」という）

環境保全に取り組む企業や団体等の率先した活動や、ハード・ソフトを含めた住まい方の具体的提案等を行うことにより、単なる「普及・啓発」に留めず、県民が取組を「実行」するきっかけとなるイベントとする。

②　いしかわの里山里海展２０２４（以下「里山里海展」という）

いしかわの里山里海を見つめ直し、里山里海から得られる恵みや生物多様性についての理解浸透を図ることで、ふるさと石川を未来へつなぐものとする。

③　いしかわ近未来の環境技術展２０２４（以下「環境技術展」という）

省エネルギーや再生可能エネルギーに関する先進的技術や研究を見て、触れて、体験してもらうことを通じて、企業・大学等による取組を県民に広く紹介する機会とする。

２　開催のねらい

1. 次の３つを柱とした魅力的な内容で、多数の方々に来場いただき、「実行」につなげていただく機会とする。

①　カーボンニュートラルの実現に向けた、新しい豊かな生活スタイルの提案

②　自然と人との共生（生物多様性・里山里海の利用保全）

③　新しい環境産業の創出（省エネ・再エネ技術の革新）

（２）(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議の会員である、行政、企業、民間団体の取組を県民に広く紹介するとともに、フェアへの出展を機に現在会員でない企業、民間団体が会員になっていただく機会とする。

（３）温室効果ガスの削減（省エネルギーの普及、再生可能エネルギーの導入）につながる商品の紹介・普及を行う。

（４）今後のイベント運営のモデルとなるよう、会場設営、イベント実施、開催事務局運営等にあたって、二酸化炭素排出削減など環境負荷を軽減する工夫を極力取り入れる。

（５）石川県における環境ビジネスの振興を図る。

（６）環境教育を推進する。

３　業務委託内容

（１）環境フェア等の企画提案

２０２３年度の開催内容や来場者・出展者のアンケート結果(※)を踏まえ、できる限り具体的な内容で提案し、イベントへの誘客、会場内の回遊性、来場者が家族で楽しむことを考慮するとともに、令和６年能登半島地震からの創造的復興に資する提案も盛り込むこと。

※いしかわ環境フェアＨＰ（https://www.eco-partner.net/information/environ-fair）

　　①　イベント企画

　　ア　環境フェア

　　　　（公社）いしかわ環境パートナーシップ県民会議会員、行政機関、その他企業・団体の取組に関する展示を効果的に発信する方法を提案すること。また、子どもを対象とした工作・体験コーナーを設けるなど、ファミリーで楽しめる企画を提案すること。（工作・体験コーナーを有料とする場合は材料費等の実費相当額とし、金額と算定根拠を示すこと）

　　イ　里山里海展

　　　　世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとした本県の里山里海や生物多様性について、体験を通して効果的に発信できる企画を提案すること。

　　　ウ　環境技術展

　ａ　イベント全体のメイン企画として、テーマを踏まえ、温室効果ガス削減に向けた、時代の先端を行く技術と期待される効果の展示・体験について、ゾーンを構築する企画を提案すること。なお、例示として以下のキーワードを挙げる。

　　　　　　例：脱炭素、カーボンニュートラル、デコ活、ZEB/ZEH、GX（グリーントランスフォーメーション）、水素エネルギー、電動車、蓄電池、V2H、デジタル化、半導体、スマート交通、カーボンリサイクル、気候変動適応、防災対策 等

ｂ　石川県内に事業所を有する企業が、自社における、地球温暖化防止に資する技術や製品、ゼロカーボン・ＳＤＧｓに関する取り組みについて紹介できるコーナーを設けるものとし、出展を呼びかける企業群を提案すること。

②　ステージ企画

　　　ア　会場内にステージを設け、環境や里山里海、生物多様性、創造的復興等に関連したステージイベントを実施すること。なお、ステージスケジュールのうち既に実施を決定しているイベントは以下のとおり。

　　　　　２４日(土)　９時半～１０時　　環境月間・愛鳥週間ポスター表彰式

　　　　　２４日(土)又は２５日（日）　１３時半～１４時半　　環境関連の講演会（講師未定）

　　　イ　ステージイベントの進行を担う司会者を配置すること。

③　モニュメント

　　　　展示会場入口付近に、「脱炭素と防災」と「気候変動」に関するモニュメントを設置すること。

　　　　＜参考＞Ｒ１　：チャートプロジェクトパネル(環境関連のグラフをイラスト化したもの)

Ｒ４　：地球温暖化解説パネル

Ｒ５　：地球温暖化解説パネル、トキの氷彫刻

　　④　物販コーナーへの出店提案

　　　　会場内に物販（食品含む）コーナーを設け、５店舗以上の出店を提案すること。販売品については、環境に配慮したものとし、出展者に対しては、本イベントの趣旨に沿った出展条件を付すこと（例：提供する容器、スプーン、フォーク、袋等は環境に配慮したもの（紙製や木製、生分解性プラスチック等の素材）の使用を促す、県残材を利用した割り箸の使用、飲食料品には県産食材を使用）。

⑤　飲食コーナー

　　　　会場内にテーブル・イスを設置した飲食コーナー（１００席程度）を設けること。また、出展者に対しては、会場内には洗い場を設けないことを十分周知するとともに、本イベントの趣旨に沿った出展条件を付すこと（例：提供する容器、スプーン、フォーク、袋等は環境に配慮したもの（紙製や木製、生分解性プラスチック等の素材）の使用を促す、県残材を利用した割り箸の使用、飲食料品には県産食材を使用）。

　　⑥　その他

　　　ア　屋外展示スペースを活用すること。

　　　イ　今後のイベント運営のモデルとなるよう、二酸化炭素排出削減など環境負荷を軽減する

工夫を極力取り入れること。

　　　ウ　本イベントの実施による二酸化炭素排出削減量を定量的に測定できる方法について提案すること。

　　　エ　今回のイベントでは、屋内会場で再生可能エネルギーを活用した電気を利用する予定であり（主催者手配）、屋外展示スペースにおいても、再生可能エネルギーを活用した電気を利用するよう努め、屋内外ともに、看板等で来場者に対する周知を行うこと。

　　　オ　来場者にマイバッグ、マイボトルの携帯を呼びかけること。

　　　カ　提案のあった企画のほか、主催者から提案のあった企画を実施すること。なお、委託予定金額のうち９００，０００円（税込）を予算額とする。

　　　キ　企画の実施にあたっては、提案のあった企画を基本として主催者との協議のうえ実施するものとする。

（２）会場の設営・撤去

　　①　設営までの準備及び打合せ

　　ア　以下の関係会議・打合せにおいて使用する資料を作成し、同席すること。

　　　　＜会議の種別＞ワーキンググループ、事務局ミーティング

イ　各団体から提出された出展申込書等のとりまとめ及び会場レイアウト図案の設計を行うこと。

ウ　出展者との連絡・調整を行うこと。

　　エ　開催日の概ね１か月前に出展者説明会を開催すること。

　②　会場レイアウト・備品

　　ア　設営面積は環境フェア、里山里海展、環境技術展それぞれ１，０００㎡を目安とし、そ

の他を受付、通路、ステージ、休憩コーナー等の共用スペースとすること。

　　　イ　来場者・事務局・出展者用の休憩コーナーをそれぞれ設けること。

　　　ウ　環境フェア、里山里海展、環境技術展の区分を明確にすること。また、区分毎にブースを色分けするなど、来場者が自分の所在地や目的地を把握できるような視覚的な工夫を講じること。

　　　エ　ステージはＤ５４００ｍｍ×Ｗ９０００ｍｍ×Ｈ６００ｍｍ程度を目安とし、ステージ上看板、音響、照明、モニター（県が準備する１６５インチスクリーン）を設置すること。また、十分な客席兼休憩スペース（１００席程度）を確保すること。

　　　オ　１ブースあたりの広さ及び想定小間数は以下を基本とし、パーテーションを設置すること。また、１ブースごとに最低限必要となる机・椅子を基本備品として配置すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別　　　　　　　 | 小間割 | 想定数 | 基本備品 |
| 環境フェア（会員、行政機関）、環境技術展 | Ｗ３ｍ×Ｄ２ｍ | 約８０（環境フェア７０、環境技術展１０） | 机①イス②団体名表示板 |
| 環境フェア（非会員）、環境技術展 | Ｗ５ｍ×Ｄ２ｍ | 約４０（環境フェア２０、環境技術展２０） | 机②イス②団体名表示板 |
| 里山里海展 | Ｗ２ｍ×Ｄ２ｍ | 約６５（里山里海展） | 机①イス②団体名表示板 |

　　　　　※出展申込状況及び会場スペースに応じて柔軟に対応すること。

　　　カ　出展者から追加備品の要望があった場合は、出展者から費用を徴収のうえ配置すること。その場合、あらかじめ備品の単価について主催者と協議のうえ、出展申込書に明記すること。

　　　キ　総合受付について提案すること。

ク　総合受付、環境フェア、里山里海展、環境技術展、物販コーナー及び飲食コーナーの区

分毎に、会場図を記した案内看板を必要数設置し、来場者が位置等を把握しやすいよう工

夫すること。

　　　ケ　ステージイベントの案内図を必要数設置し、来場者がスケジュール等を認識しやすいよう工夫すること。

　　　コ　下記に対応できるよう、会場内に無線LAN（Wi-Fi対応）を必要台数設置すること。

・産業展示館４号館屋内エリア（入場口ロビーを含む）において、有効伝送距離、電波干渉への対応等を考慮の上、無料で無線LAN（Wi-Fi）を利用してインターネット接続ができること。

・アクセス回線は、最大１Gbpsの通信が可能な光回線を使用すること。また、ネット環境については、同時接続端末が７台以上となる場合を想定するなど、利用者が快適にインターネットに接続できる水準を確保すること（出展者のネット回線の利用内容によっては、臨時回線の設置を出展者と調整の上行うこと）。

・アンケートは来場者のスマートフォンやタブレット端末で動作することを前提とすること。そのため必要となるネット環境を整備するとともに、アンケートの手順も提案すること。

（３）当日の運営業務

　　以下の業務について準備及び運営を行うこと。

　　①　オープニングセレモニー業務

　　　ア　日時　　２４日(土)　９時２０分～９時３０分

　　　イ　場所　　石川県産業展示館４号館入口

　　　ウ　業務内容

　　　　　会場のセッティング（イス、テープカット、司会・挨拶用マイク、清掃等）

　　　　　※本番は、各責任者を配置し細心の注意を払うこと。

　　　エ　その他

　　　　　当日の朝（８時３０分頃～）にリハーサルを行うので、その時間までにセッティングを完了させ、事務局責任者に報告すること。リハーサルではマイクテストも併せて実施するため、委託事業者も参加すること。

　　②　ステージイベント運営業務

　　　ア　場所　　石川県産業展示館４号館内ステージ上

　　　イ　業務内容

　　　　　ステージイベントの運営（舞台設営、音響操作、進行等）を行うこと。

　　　ウ　その他

２３日(金)にセッティングを完了後、事務局と進行についての最終確認を行うこと。

　　③　警備業務

　　　　石川県産業展示館４号館及び駐車場について、２３日（金）～２５日（日）までの間、夜間を含め、下記の警備業務を行うこと。

　　　ア　業務内容

　　　　ａ　車両及び歩行者の誘導及び来場者への案内対応

　　　　ｂ　各駐車場内、出入口における開閉門作業及び誘導並びに車両通行管理

　　　　ｃ　近傍の主要交差点を含めた会場周辺での車両及び歩行者の安全誘導

ｄ　事務局への入車状況、事故等の連絡

　　　　ｅ　その他警備員としての適切な業務管理

　　　イ　その他

　　　　ａ　警備員配置計画・連絡体系図を作成し、事務局と事前に協議を行うこと。

　　　　ｂ　各員に無線又は携帯電話を配備し、連絡を密に取り合い、業務を的確に遂行すること。また、その他警備に必要な用具一式は警備会社において用意すること。

　　④　会場清掃

　　　ア　場所　　石川県産業展示館４号館及び会場周辺

　　　イ　内容　　館内、トイレ、会場周辺の清掃一式

　　　　ａ　前　日：展示作業終了後の清掃

　　　　ｂ　１日目：会場オープン前の再清掃

　　　　　　　　　　巡回清掃及びゴミ分別収集・処理、トイレ清掃

　　　　ｃ　２日目：巡回清掃及びゴミ分別収集・処理、トイレ清掃

　　　　　　　　　　撤収後の清掃

　　　ウ　その他

　　　ａ　ごみは、「燃やすごみ」「あき缶」「プラスチック」等、種類に分けて収集・処理を行うこと。

ｂ　前日から２日目の３日間いずれも、１７時から翌朝９時までの間、会場周辺にごみを放置することのないよう処理すること。

ｃ　当日は、オープン前に会場内にごみがないかをよく確認すること。トイレについても来場者に不快を与えないよう頻繁に清掃すること。

ｄ　最終日については、解体・撤収作業が終了次第清掃作業を行い、当日中に引き渡しを終えること。

⑤　安全・衛生対策

ア　廃棄物処理業務

前日から２日目の３日間に発生した廃棄物の運搬及び処理を行うこと。また、廃棄物そのものを減らす取組を行うこと。

イ　看護師手配業務

１日目及び２日目の開催期間中において、来場者および出展者の事故等に備えて、各日１名看護師を手配し、救護室に常駐させること。

　　　ウ　感染症対策

　　　　　定期的な換気や消毒液の設置など、基本的な感染症対策を行うこと。

　　　エ　熱中症対策

　　　　　開催期間中は、高温により熱中症となる恐れがあることから、会場内に給水スポットを必要数設置し、来場者及び出展者の熱中症を防止するための対策を実施すること。

　　⑥　その他

ア　入場者数の把握（把握する方法について提案すること）

イ　出展者との連絡・調整

（４）広報の提案

　　①　事前広報用のデジタルチラシを作成すること。作成にあってはチラシレイアウト案を作成し、十分な期間を設けて事務局と協議を行うこと。なお、SNSの活用等広報する上での工夫について提案すること。

②　当日来場者がスマートフォン等で閲覧できるデジタルリーフレット（会場図）を作成し、冊子としても印刷できるよう、入稿データを提供すること。また、会場において、ポスターや案内看板に掲示したＱＲコードなどを通じて、スマートフォン等にダウンロードできるようにすること。なお、当該リーフレットの作成、入稿データの提供及びダウンロードに係るシステム構築は本委託業務の対象とするが、当該リーフレットの印刷は本委託業務の対象外とし、概算見積額（５，０００部想定）を提示すること。

　　③　その他告知宣伝ツールやマスコミの協賛、タイアップについて提案すること。

　　　＜参考＞昨年度の告知宣伝ツール（例）

　　　　　　　・テレビ出演による宣伝（８月２４日）

　　　　　　　・テレビ１５秒ＣＭ（８月２１日～２６日の間、計１５回）

（５）開催結果報告書の作成

主催者が実施する来場者・出展者アンケートの結果やインターネット（SNS等）上の反応などを踏まえた報告書を作成するとともに、次期開催に向けた改善提案をすること。

４　委託予定金額

８，０００，０００円以内（税込）

（１）委託金額に含まない経費

　　①　会場借上料及び会場に付帯する経費（光熱水費、会場所定の机・椅子借上料）

　　②　デジタルリーフレット（会場図）の印刷に係る経費（３（４）②参照）